

福島工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	コミュニケーション論Ⅰ	
科目基礎情報							
科目番号		0033		科目区分	専門 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		ビジネスコミュニケーション学科		対象学年	2		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		配布資料、授業中に指示する					
担当教員		松江 俊一					
到達目標							
①分量の多い新聞・雑誌・講話等の情報を図表を用いて要約できる。 ②決められた制限時間の中で意味の含有率の高い発表ができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		コミュニケーション形態を様々な角度から捉える目を養う。 独自に考えを纏め、発表・発信する。					
授業の進め方・方法		中間試験は50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。 定期試験60%、授業メモ・レポート・発表等40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
注意点		授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけにすぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることが心がかかること。課題などの資料を読み、毎回コメントを準備して授業に臨むこと。指定する方法で学習状況を記録し、試験準備等に役立てること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	教えと学び 1		一期一会、「学び」を多角的に理解する		
		2週	教えと学び 2		マスメディアと歴史問題		
		3週	教えと学び 3		効率的に学ぶことの功罪		
		4週	教えと学び 4		SD 4		
		5週	人と科学技術 1		2045年問題、ナノテクノロジー ロボット工学、遺伝子工学		
		6週	人と科学技術 2		科学技術と市場経済の関連性		
		7週	人と科学技術 3		SD 4		
		8週	レジュメの作成、発表		個人発表（5分）、相互評価		
	2ndQ	9週	レジュメの作成、発表		個人発表（5分）、相互評価		
		10週	レジュメの作成、発表		個人発表（5分）、相互評価		
		11週	差別について 1		水平社人権宣言、エリートの概念 アイデンティティとエスニシティ		
		12週	差別について 2		沖縄問題、アイヌ問題、原発問題		
		13週	差別について 3		アメリカの不法移民問題		
		14週	差別について 4		日本への留学生・就学生問題		
		15週	前期学習したことの総括		前期期末試験解答用紙の返却と解説		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる 寛容さが必要であることを認識している。		3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項に ついて説明できる。		3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。		3	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が 果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。		3	
評価割合							
	試験	課題・発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0